



水の文化 30号 2008年11月

特集「共生の希望」

ご挨拶 中埜 又左工門 和英 2

水の文化 総目次 4

地方都市と水の共生 陣内秀信 8

沖大幹のスペイン・サラゴサ万博レポート 沖大幹 14

水と持続可能な開発 編集部 20

アジアと日本の水文化 鳥越皓之 26

ITで実現される理想社会 藤本淳 32

進化する工場の水処理思想 今岡孝之 36

今、必要な報道とは 池上彰 40

水都大阪を盛り上げる水陸両用バス 須知裕曠 44

共生とは何か 山折哲雄 50

技術にも自治がある 大熊孝 56

文化をつくる 共生の希望 編集部 66

文化を伝える 河川思想の変遷 古賀邦雄 64

文化をつくる インフォメーション 67

共生の希望

「共生」というと難しく聞こえますが、結局のところ、問題にすべきはいつ、どこで、だれが、なにを、どのように敢えて言えば、Whom with? 誰と共生するの? と考えていくと、自分の生き方に返ってきます。

『水の文化』は30号にわたって、水と人、人と人とのかわりをテーマにしてきました。それは結果として、共生を考えることにつながっています。そして共生は幸福な生き方実現の鍵を握っているように思います。

人は等身大のことしか実現できません。大それたことではなく、各人が等身大のことを実行することで次世代に希望ある社会をバトンタッチしたいものです。